



ミツバチと家畜伝染病

家畜保健衛生所では、牛・豚・鶏などの他に、ミツバチの病気まん延防止対策も行っていきます。

養蜂は、蜂蜜を採るだけでなく、野菜の生産にとつても欠かせません。ミツバチが花から花へ飛ぶことで、農作物の受粉を助けます。また、最近では趣味としてミツバチを飼う方も増え、当所管内（秩父郡市、児玉郡市、大里郡市、北埼玉郡市）には110戸のミツバチ飼養者がいます。



ミツバチには、細菌によってミツバチの幼虫（蛆）が死亡する「腐蛆病（ふそびょう）」という病気があります。家畜保健衛生所では、花が咲き誇り、ミツバチが勢いを増す春を中心に腐蛆病（ふそびょう）の検査を行

っています。検査は、職員が1群ごとに丁寧に異常の有無を目視確認しています。

【注意】

1歳未満の乳児に蜂蜜を与えないでください！

1歳未満の赤ちゃんは、蜂蜜を食べることによって乳児ポツリヌス症にかかることがあります。乳児ポツリヌス症は、便秘・ほ乳力の低下・元気の消失・泣き声の変化・首のすわりが悪くなる、といった症状を引き起こすことがあります。ほとんどの場合、適切な治療により治癒しますが、まれに亡くなることもあります。ポツリヌス菌は熱に強いので、通常の加熱や調理では死にません。（厚生労働省HPから引用）

乳児ポツリヌス症の発生を防止するため、1歳未満の乳児には蜂蜜を与えないよう、十分ご注意ください。

